

2005年8月期第3四半期の決算を発表

連結業績

(単位:億円)

	1Q～3Q (04/9～05/5)			3Q (05/3～05/5)		
	実績	前年実績	(前年比)	実績	前年実績	(前年比)
売上高	2,948	2,699	(+9.2%)	929	870	(+6.8%)
売上総利益 (売上比)	1,328 45.1%	1,301 48.2%	(+2.0%) ( 3.2p)	429 46.2%	435 50.0%	( 1.4%) ( 3.9p)
販管費 (売上比)	832 28.2%	727 26.9%	(+14.5%) ( + 1.3p)	287 30.9%	253 29.1%	(+13.5%) ( + 1.8p)
営業利益 (売上比)	495 16.9%	574 21.3%	( 13.7%) ( 4.5p)	142 15.3%	182 21.0%	( 22.2%) ( 5.7p)
経常利益 (売上比)	511 17.4%	579 21.4%	( 11.6%) ( 4.1p)	149 16.1%	187 21.5%	( 20.3%) ( 5.4p)
当期利益 (売上比)	271 9.2%	283 10.5%	( 4.3%) ( 1.3p)	57 6.2%	104 12.0%	( 45.0%) ( 5.8p)

【サマリー】第3四半期は増収減益となり、通期業績予想を下方修正

2005年8月期第3四半期累計(2004年9月～2005年5月までの9ヶ月間累計)の単体業績は、売上高2,862億円(前年同期比7.3%増)、経常利益500億円(同14.2%減)、当期利益289億円(同8.9%減)と増収減益になりました。なお、第3四半期単独(2005年3月～5月の3ヶ月間)の実績では、春物商品の不振などから売上高が前年同期比0.6%のプラスと微増にとどまったうえ、在庫調整などの影響から粗利益率も46.3%に低下、経常利益で前年同期比23.8%減となりました。

こうした結果を受けて通期(2005年8月期)の単体業績予想について下方修正し、修正後の単体ベースの業績予想は、売上高が3,630億円(従来予想は3,718億円)、経常利益が570億円(従来予想は630億円)となっております。

一方、連結業績は、第3四半期累計で売上高2,948億円(前年同期比9.2%増)、経常利益511億円(同11.6%減)、当期利益271億円(同4.3%減)となり、単体同様、連結についても通期業績予想を売上高3,808億円(従来予想は3,880億円)、経常利益582億円(従来予想は639億円)へと下方修正を実施しました。

【単体業績】

第3四半期単独(2005年3月～5月の3ヶ月間)の業績は、まず、売上高が前年同期比0.6%増と微増にとどまりました。これは、店舗数こそ計画通りの15店舗の純増(出店19店舗、閉店4店舗、2005年5月末の直営店舗数は668店舗)となったものの、既存店売上高が客数減の影響から前年比6.8%減となったことによるものです。粗利益率も、不振の春物商品を中心に在庫調整のための早期の売価変更を進めたことから46.3%と前年同期比3.9ポイントの悪化となり、さらに、販管費についても人員数増加(本部および店舗)に伴う人件費増や店舗数増加による賃借料増加などを要因として前年同期を5.6%上回った結果、経常利益は142億円(前年同期比23.8%減)と前年を大きく下回る水準となりました。

### 【連結業績】

連結業績に影響を与えた主な連結対象会社としては、まず、当四半期より新たに加わったワンゾーン(靴小売業)が特別利益12億円(債務免除益など)影響もあり当期利益で16億円となったほか、6月にマザーズへの上場を果たしたリンク・セオリー・ホールディングスの「持分法による投資利益(営業外収益)」として9億円が計上されました。一方、特別損失として、当四半期に実施したネルソンフィナンス社(ブランド名「コントワー・デ・コトニエ」)の買収に伴う42億円の連結調整勘定償却(のれん代の償却)も発生しております。

### 【事業構造改革】

こうした第3四半期の業績結果と同時に、「持株会社制への移行についてのお知らせ」のリリースも行いました。当社は、平成17年11月1日(予定)付にて「株式会社FRホールディングス」に商号変更し持株会社体制に移行することを決定いたしました。これは、国内外における競争環境が激しさを増すなか、ユニクロブランドの再強化や海外事業・新規事業へのさらなる挑戦のために、個々の事業を峻別し採算性や責任体制の明確化をはかるとともに、迅速な事業提携や機動的な資本参加などを進めることが必要不可欠であると判断したためです。

持株会社体制移行後は、株式会社FRホールディングスとなる当社がグループ全体の経営戦略策定等の機能を担い、日本におけるユニクロ事業などを承継するサンロード株式会社(当社100%子会社で「株式会社ユニクロ」に商号変更予定)をはじめとする各子会社はそれぞれの事業領域において事業価値最大化を目指していくこととなります。

(注) IR情報 (<http://www.fastretailing.co.jp/ir/index.html>) に決算データや各種リリースなどを開示しております。詳細についてはこちらをご確認ください。